

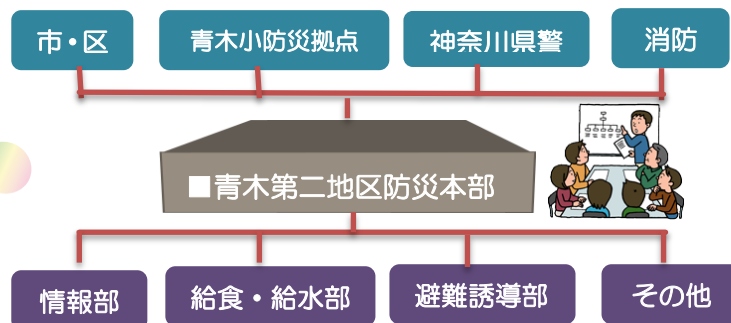
青木第二地区社会福祉協議会 では「防災を通じた世代間交流」をテーマに

地域福祉活動計画を策定しています

防災対策

■災害時の組織作り

青木第二地区内に「防災本部」をはじめ、「情報」「給食給水」「避難誘導」等の部を作り、それぞれの部の課題解決に向けた取り組みを検討、実践します。



■日常時からの準備と備え

日常時からの安否確認

ふれあい訪問活動の充実

災害時の避難誘導

避難経路の案内、確認

防災意識の啓発 防災情報の提供

津波、標高、地盤、備え等

食糧備蓄の考え方の広報

連合町内会や各町内会自治会は、安否確認や情報収集、食料の配分などの役割を担い、食糧備蓄は行わず、各家庭で行っていただきます。約一週間分の食糧備蓄を呼びかけます。



防災フェアの様子

地域福祉活動計画 実行委員会

実行委員会は、鶴屋町、台町、上反町、反町自治会、反町町内会、桐畑の各町内会長、さらに各町から、民生委員児童委員、青少年指導員、スポーツ推進員、子ども会、保健活動推進委員、老人クラブの各団体から選出されたメンバーを中心に組織されています。

世代間交流の 取り組み

災害時の活動を具体化するためにも担い手の確保が必要

そのためにも日頃から住民同士の交流・関係作りが必要

自然と地域の人と交流できる関係性作りができる仕組みづくり



色々な世代の方が参加する
益踊り大会



支援を求める人が SOS を出せる、支援者が SOS を受け取れる街づくり



地域の高齢者
交流の場
高齢者の集い

